

ホワイトペーパー
Ver.2024-05



I N A G E Collective impact

稲毛コレクティブインパクト



「産・学・官・民 一体で目指す 稲毛・文教のまちづくり」



I N A G E

Collective impact

稲毛コレクティブインパクト

千葉市稲毛区は3つの大学が存在する、歴史のある文教地区として知られており、市民活動や学生団体の活動が盛んな地域です。

稲毛コレクティブインパクトは、民間事業者、地域団体が共同で設立・運営し、千葉市や千葉大学が協力するエリアマネジメント組織です。千葉市稲毛エリアの価値と課題を抽出・研究し、「住みたい街」「住み続けたい街」としてサステナブルなまちの実現を目指す地域創生プラットフォームを構築します。

産学官民の様々な参加者がビジョン・データ・課題を共有し、個々の強みを活かし、取り組みを相互に補完し合い、信頼形成に向けたオープンなコミュニケーションを継続することで、単独では難しい社会課題の解決を目指していきます。また、課題解決のための様々な試行的取組を実施し、その内容を広く情報発信します。

コレクティブインパクトとは？

■ 主体の異なるステークホルダーが共通の社会課題の解決に取り組む

コレクティブインパクトとは、2011年にアメリカのJohn KaniaとMark Kramerによって提唱された理念。主体の異なる複数のステークホルダーが社会課題の解決に取り組む手法です。

具体的には、企業・行政・NPO・自治体などから集まったメンバーが、社会課題の解決のために知識や技術を持ち寄り、協力して社会課題を解決します。スタートアップ企業から大手企業まで、コレクティブインパクトのもと協力することで、新たな価値を創出することを目指します。

■ コレクティブインパクトが注目されている理由

コレクティブインパクトが普及した背景として、社会問題が複雑化し、単独の組織では課題解決が難しくなっていることが挙げられます。コレクティブインパクトによって、行政のみならず、企業・NPO・財団・自治体などが協力し、大きな問題を解決できる可能性があります。

また、企業は社会への貢献度や世界的な課題に対する姿勢も問われるようになってきています。世界的な課題解決について、どのようなアクションを起こしていくのか、消費者に期待され、間接的に利益にも影響を及ぼす時代です。そういった意味でも、企業にとって重視しておきたい概念がコレクティブインパクトなのです。

■ コレクティブ・インパクトを成功に導く5つの条件

1. メンバー全員の共通認識（共通のアジェンダ）
2. 評価システムの共有
3. 相互補完できる環境
4. 継続的なコミュニケーション
5. 活動を支えるバックボーン組織



千葉市稲毛区を中心にした関係するセクターの参加によって地域活性化を目指します



「コレクティブインパクト (Collective Impact) 」とは、複雑化する社会課題に対して、異なるセクターが協働し課題解決に導くアプローチです。人口減少・少子高齢化に伴う社会課題は、一つの課題が他の課題と互いに影響し合い、さらなる課題を招いています。コレクティブインパクトは、このような複雑化・深刻化する社会課題に対し、行政だけでなくさまざまなセクターが知見を出し合い、目標を定め、評価する手法です。

大学による地域活性化の中心を担ってきた千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスと千葉大学研究成果活用型地方創生ベンチャー・ミライノラボが、民間企業とともに2022年からコレクティブインパクトの研究を開始し、2023年に任意団体「稲毛コレクティブインパクト」を設立しました。その目的は、千葉・稲毛エリアの社会課題に対し、大学、民間企業、地域団体、行政が連携し、具体的な活動を通じた解決に取り組むことです。

活動範囲は千葉市稲毛区を中心に、稲毛海岸から西千葉エリア、千葉県調整郡長柄町まで広域に及び、関係するセクターの参加を促します。

定量的な共通指標を設定し、参加者間で共有します

アジェンダ	ターゲット	エビデンス	具体的な目標	指標(定量)
・「住民の地域への関心を高め、『文教のまち・稲毛』のイメージを定着させるため、まちのリブランディングに取り組む」	(1)地域住民の「文教のまち・稲毛」に対するイメージの向上	・稲毛に対する「文教のまち」というイメージが低い(2022年度の調査) ・「文教のまち」としての意識が地域全体に一般化されていない(2023年度調査結果②)	・カレッジリンクを定期開催する ・稲毛CIの活動を情報発信する	・カレッジリンクの開催数 ・HPの閲覧数 ・SNSでの発信数
	(2)地域活動に関わる機会の増加	・地域の人々に関わりながら活動に参加したいという意見はある(2023年度調査結果①) ・地域活動への関心は増加しているが参加割合は減少(千葉市調査)	・稲毛CIによるイベントの開催(年1回程度) ・主に子育て世代向けの参加しやすいワークショップを開催する(年4回程度)	・イベントの開催数 ・ワークショップの開催数
	(3)セクター同士の「つながり」の促進	・30代のコミュニティ意識の低下(2023年度調査結果③)	・稲毛CIの参画団体を増やす	・稲毛CIの参画団体数 ・セクター間の交流の実績

指標	FY2023実績	FY2024目標
HPの閲覧数	0	1000
プログラム開催数	0	100
プログラム参加者数	0	1000
稲毛CI参加団体数	15	20
投資額	0	3,000,000

稲毛コレクティブインパクトを構成するステークホルダー

稲毛コレクティブインパクトは、産・官・学・民がそれぞれの立場でオープンなコミュニケーションを継続することで、千葉市稲毛区の地域創生を目指していきます

正会員

株式会社ミライノラボ

特別会員

日鉄興和不動産株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
大林新星和不動産株式会社
三信住建株式会社
株式会社IMPRINT
株式会社ルネサンス
株式会社hacomono
株式会社ベジリンク

賛助会員

千葉市
長柄町
認定特定非営利活動法人 まちづくりスポット稲毛
千葉大学予防医学センター 花里真道研究室
千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太研究室

個人会員



● 稲毛区の基礎調査

学生が稲毛区で活動する団体、NPO法人などに対してインタビュー調査を行いました。また、稲毛地域のシビックプライドについて調査研究をしました。

● コレクティブインパクト会議の開催

千葉市稲毛区の課題やポテンシャルについて産学官民が集まり情報交換をする「コレクティブインパクト会議」を定期的に行っています。

これまで2022年4月、6月、8月、11月、2023年2月、11月、2024年7月(予定)に千葉大学西千葉キャンパス等で開催し、大学、民間企業、自治体等の参加がありました。

関心のある企業、自治体、個人の皆様はオブザーバーとして参加できます。

● 地域イベントの開催

「産学官民一体で目指す 稲毛・文教のまちづくり」をテーマに、誰もが参加できる身近な学びの場を創出する事業として、各種イベントを企画・運営しています。

2024年8月以降、稲毛コレクティブインパクトのキックオフイベントを年2回、開催します。また、毎月、「学び」をテーマにしたイベントを開催します。



千葉市稲毛エリアの活性化と一緒に取組む企業を募集しています

稲毛コレクティブ・インパクトは千葉市稲毛区に関わる人たちが集まり、共通の志や目標のもと、それぞれの立ち位置からの意見を尊重することを目指した組織体です。

今までは行政が決めた計画に沿ったまちづくりがメインでしたが、複雑な社会問題が入り組む現代社会では産・官・学・民すべての立場からの意見をフラットに議論し、実行することが重要です。その中でも、経済活動の中核を担う地元企業の参画は重要事項です。

ぜひ、稲毛コレクティブ・インパクトに参画して、稲毛区の活性化にご協力ください。

● 稲毛コレクティブ・インパクトの会員と会費

稲毛 CI は、法人、団体、個人(以下、会員)で構成し、会費は以下の通りです。

正会員

大企業 : 50万円/1口 大企業に属さない法人 : 5万円/1口 個人 : 1万円/1口

ご興味のある企業様は以下のメールアドレスにご連絡ください。担当者より折り返しご連絡いたします。

稲毛コレクティブインパクト事務局 株式会社ミライノラボ
メールアドレス ici@mirainolab.co.jp

稲毛コレクティブインパクトに参加することで得られるメリットをご紹介します

01 企業のメッセージや姿勢を社会にアピールできる

稲毛コレクティブインパクトに参加しているのは、行政、教育機関（大学）、市民団体、一般企業などです。これらのステークホルダーが情報発信を行うので、参加企業にとって社会にアピールできる機会が増えます。その結果、自社が社会問題に対して向き合い、役立とうとする姿勢を持っていることを世の中へ広くアピールできます。それにより、企業のイメージアップが期待できます。

02 コネクションが広がり、販売促進に期待できる

稲毛コレクティブインパクトに参加すると、社会課題をきっかけとして、さまざまな団体・企業と交流を持つことになります。その連携が新たな事業のきっかけになり、新たな気づき・スキル・専門性・人脈を得る機会になります。知見やコネクションを増やし、市場を広げ、今後の事業へ役立てられます。

03 複雑化した社会課題にアプローチできる

コレクティブインパクトの実践に際し、企業・団体の垣根を超えてさまざまな価値観・考え方を持ち寄ることで、企業単独では解決できない課題に対応できるようになります。共感に基づき協力することで、利害関係に縛られず、問題解決の方法を創出できます。

集合知により新しい価値を創造し、複雑化した社会課題にもアプローチできるようになるはずです。

稲毛コレクティブインパクトは、千葉大学研究成果活用型ベンチャー・ミライノラボが運営しています。

社名	株式会社ミライノラボ Mirainolab Inc.
本社	〒263-0022 千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号 (千葉大学西千葉キャンパス内)
連絡先	ici@mirainolab.co.jp
設立	2018年4月18日
資本金	1,000,000円
役員	代表取締役 田島翔太 取締役 阿部厚司 監査役 清田浩義
事業内容	(1) 実践型コンサルティング事業 (2) 産学連携マッチング事業 (3) 地方創生・地域活性化に関する事業 (4) 地方創生・地域活性化に資する旅行業 (5) 前各号に附带関連する一切の事業

● 稲毛コレクティブ・インパクトへのお問い合わせは下記より受け付けています。

※ご連絡いただいたら担当者より折り返しご連絡いたします。

※ご返信が遅くなる場合がございますが、通常48時間以内にはご連絡いたしますのでご了承ください。

稲毛コレクティブインパクト事務局
株式会社ミライノラボ
ici@mirainolab.co.jp